

学修時間・学修実態及び 授業評価に関する報告書 (2022年度春学期)

2022年度 清泉女学院短期大学 IR室

2022/8/31

目的

- 清泉女学院短期大学の2021年度春学期授業評価アンケートを分析すること
 - 学科別，学年別、授業形態別に分析
 - 共通教育（略称：共通）
 - 幼児教育科（略称：幼教）
 - 国際コミュニケーション科（略称：国際） とする
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程編成に関する全学的方針の検討への基礎データとして活用すること

調査概要

- 調査時期：2022年7月
- 調査対象：
 - 清泉女学院短期大学生を対象とした。
 - 分析対象は、2022年度春学期に開講した科目のうち128科目※。総回答数3,706件。

表1 学年別・学科別・授業形態別の分析科目数

学科	配当年次	講義	演習	実技・実習	小計
共通	1・2年	8		2	10
	1年	4	3		7
幼教	1年	7	20		27
	2年	4	18	3	25
国際	1年	7	24	1	32
	2年	9	18		27
総計					128

※アンケート実施科目のみ掲載（実際の開講科目数とは異なる）

調査項目①（授業時間外の学修時間）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業時間外の学修時間（予習・復習）】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 あなたは、毎日平均して、どのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？
 - 1：0時間
 - 2：30分程度
 - 3：1時間程度
 - 4：1時間半程度
 - 5：2時間以上
- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1：「0分」、2：「30分」等、学修時間の推計量として用いた。

調査項目①の記述統計

- 短大全体における学修時間の平均値は、**推定44分**であった。昨年同期（42分）と比較するとやや増加した。
- ※ σ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表2 学科別・授業形態別の授業1回あたりの予習・復習の推計値（分）

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	33(12)	8			22(4)	2	31(12)	10
	1年	29(4)	4	69(3)	3			46(20)	7
	共通 集計	32(10)	12	69(3)	3	22(4)	2	37(18)	17
幼教	1年	33(9)	7	42(16)	20			40(15)	27
	2年	45(26)	4	35(12)	18	35(7)	3	37(16)	25
	幼教 集計	38(18)	11	39(15)	38	35(7)	3	38(15)	52
国際	1年	41(12)	7	60(15)	24	53	1	56(16)	32
	2年	43(19)	9	50(24)	18			47(22)	27
	国際 集計	42(16)	16	56(20)	43	53	1	52(20)	60
総計		38(16)	39	49(20)	84	34(12)	6	44(19)	128

調査項目②（授業満足度）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業満足度】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業全体を振り返り、満足できる内容であったと思いますか？
 - 1： そう思わない
 - 2： あまり、そう思わない
 - 3： どちらともいえない
 - 4： やや、そう思う
 - 5： そう思う

調査項目②の記述統計

- 短大全体における授業満足度の平均値は、**4.71**であった。昨年同期の4.68と比べると若干改善した。
- 全学科・授業形態別も平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※ σ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表3 学科別・授業形態別の授業満足度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体					
		平均	(σ)	科目数	平均	(σ)	科目数	平均	(σ)	科目数			
共通	1・2年	4.70	(0.15)	8			4.91	(0.04)	2	4.74	(0.16)	10	
	1年	4.09	(0.04)	4	4.86	(0.1)	3			4.42	(0.39)	7	
	共通 集計	4.49	(0.31)	12	4.86	(0.1)	3	4.91	(0.04)	2	4.61	(0.32)	17
幼教	1年	4.67	(0.14)	7	4.72	(0.09)	20			4.71	(0.11)	27	
	2年	4.68	(0.19)	4	4.72	(0.13)	18	4.71	(0.04)	3	4.71	(0.14)	25
	幼教 集計	4.68	(0.16)	11	4.72	(0.11)	38	4.71	(0.04)	3	4.71	(0.12)	52
国際	1年	4.80	(0.11)	7	4.70	(0.24)	24	4.85		1	4.73	(0.22)	32
	2年	4.66	(0.22)	9	4.80	(0.21)	18			4.75	(0.22)	27	
	国際 集計	4.72	(0.19)	16	4.74	(0.23)	43	4.85		1	4.74	(0.22)	60
総計		4.64	(0.25)	39	4.74	(0.18)	84	4.80	(0.1)	6	4.71	(0.21)	128

調査項目③（学習成果の到達目標）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【科目の学習成果の到達目標に対する認識】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業は、学習成果の到達目標に対する知識・技能の習得に役立ったと思いますか？
 - 1： そう思わない
 - 2： あまり、そう思わない
 - 3： どちらともいえない
 - 4： やや、そう思う
 - 5： そう思う

調査項目③の記述統計

- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、**4.73** (昨年同期:4.67)であった。数値的に若干の改善が見られた。
- 全学科・授業形態別も平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※ σ (標準偏差:ばらつき度合)を示す

表4 学科別・授業形態別の学修成果目標に対する目標到達度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体					
		平均	(σ)	科目数	平均	(σ)	科目数	平均	(σ)	科目数			
共通	1・2年	4.70	(0.13)	8			4.94	(0.01)	2	4.75	(0.15)	10	
	1年	4.28	(0.13)	4	4.88	(0.08)	3			4.54	(0.32)	7	
	共通 集計	4.56	(0.24)	12	4.88	(0.08)	3	4.94	(0.01)	2	4.66	(0.26)	17
幼教	1年	4.69	(0.11)	7	4.74	(0.1)	20			4.72	(0.1)	27	
	2年	4.78	(0.14)	4	4.74	(0.09)	18	4.73	(0.1)	3	4.74	(0.1)	25
	幼教 集計	4.72	(0.13)	11	4.74	(0.09)	38	4.73	(0.1)	3	4.73	(0.1)	52
国際	1年	4.79	(0.06)	7	4.70	(0.2)	24	4.85		1	4.73	(0.18)	32
	2年	4.77	(0.15)	9	4.77	(0.26)	18			4.77	(0.23)	27	
	国際 集計	4.77	(0.12)	16	4.73	(0.23)	43	4.85		1	4.75	(0.21)	60
総計		4.69	(0.19)	39	4.74	(0.18)	84	4.82	(0.12)	6	4.73	(0.18)	128

調査項目④：共通教育科目の学習成果（詳細）

- 短大共通教育の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.66**（昨年同期：4.63）であった。数値的に若干の改善がみられる。
- 1項目を除いたアンケート項目で平均値が4.0以上となり、全体的には良好な結果となった。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表5 共通教育科目の学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学修時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
1 知識・教養	14	40分	4.41	4.51	4.75	4.37	4.60	4.61	4.49	4.56	4.62
2 視野の広さ	6	35分	4.41	4.62	4.77	4.50	4.64	4.66	4.49	4.67	4.68
3 豊かな人間性	4	29分	4.06	4.06	4.63	3.78	4.36	4.38	4.16	4.09	4.29
4 コミュニケーション能力	7	44分	4.75	4.82	4.83	4.77	4.73	4.77	4.79	4.85	4.86
5 健康・体力	3	23分	4.73	4.83	4.81	4.79	4.68	4.80	4.72	4.83	4.86
全体		37分	4.47	4.57	4.76	4.44	4.61	4.64	4.53	4.61	4.66

調査項目⑤：幼児教育科専門科目の学習成果（詳細）

- 幼児教育科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、**4.73**(昨年:4.68)であった。数値的に若干の改善がみられる。
- 全アンケート項目に対して平均値が4.0以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表6 幼児教育科 学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学修時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
II a 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の習得	8	31分	4.54	4.66	4.64	4.55	4.57	4.59	4.59	4.63	4.64
II b 保育の原理・目的の理解	7	37分	4.43	4.54	4.61	4.38	4.48	4.52	4.44	4.56	4.66
II c 保育及び支援の対象の理解	15	31分	4.57	4.72	4.74	4.58	4.61	4.65	4.56	4.69	4.72
II d 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解	23	36分	4.65	4.74	4.75	4.64	4.66	4.69	4.63	4.72	4.74
II e 保育に関する基礎的技能の獲得	21	43分	4.73	4.77	4.77	4.68	4.66	4.73	4.67	4.75	4.77
II f a~eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得	28	43分	4.70	4.75	4.77	4.64	4.67	4.70	4.62	4.73	4.73
III 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の習得	8	37分	4.71	4.81	4.77	4.69	4.71	4.70	4.72	4.76	4.72
IV 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の習得	5	36分	4.67	4.74	4.75	4.69	4.66	4.70	4.71	4.76	4.73
V 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の習得	1	31分	4.76	4.82	4.66	4.79	4.57	4.70	4.79	4.81	4.80
VI a 保育者の体験力の基礎の習得	7	34分	4.64	4.72	4.72	4.68	4.61	4.69	4.65	4.72	4.78
VI b 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の習得	5	32分	4.72	4.80	4.78	4.80	4.65	4.78	4.81	4.83	4.81
全体		38分	4.64	4.73	4.74	4.63	4.63	4.68	4.63	4.71	4.73

調査項目⑥：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科1年生の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.67**（昨年：4.68）であった。昨年同時期と同程度であった。
- ほぼ全ての項目で平均値が4.0以上であり、良好な結果であった。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7-1 国際コミュニケーション科1年生 学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学修時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
I 社会人基礎力・キャリア形成力	19	58分	4.73	4.74	4.78	4.53	4.63	4.71	4.66	4.74	4.73
II 基礎的知識・学習スキル	30	56分	4.68	4.72	4.76	4.48	4.64	4.70	4.66	4.71	4.74
III 各分野の応用力・専門性	1	71分	4.36	4.36	4.79	3.64	4.50	4.50	4.36	4.29	4.57
III 有効な資格取得	6	62分	4.54	4.63	4.70	4.23	4.60	4.68	4.53	4.56	4.64
IV ①問題を発見する力	10	48分	4.74	4.67	4.71	4.51	4.61	4.65	4.75	4.78	4.76
IV ②考える力・思考力	16	51分	4.69	4.62	4.73	4.46	4.56	4.69	4.65	4.75	4.67
IV ③工夫する力	2	72分	4.68	4.94	4.89	4.93	4.89	4.93	4.89	4.93	4.93
IV ④コミュニケーション力・表現力	14	60分	4.70	4.75	4.75	4.52	4.65	4.64	4.67	4.70	4.78
IV ⑤行動する力	2	52分	4.93	4.28	4.55	4.43	4.22	4.43	4.72	4.93	4.59
全体		54分	4.64	4.64	4.69	4.43	4.56	4.63	4.61	4.67	4.67

調査項目⑥：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科2年生の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.77**（昨年：4.68）であり、改善が見られた。
- 全アンケート項目に対して平均値が4.0以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7-2 国際コミュニケーション科2年生 学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学修時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
I 社会人基礎力・キャリア形成力	14	48分	4.63	4.76	4.73	4.64	4.64	4.69	4.68	4.74	4.73
II 建学精神・豊かな人間性	1	9分	4.29	5.00	5.00	4.86	4.86	5.00	4.86	4.43	4.86
III 基礎的知識・学習スキル	2	61分	4.75	4.83	4.85	4.63	4.48	4.73	4.20	4.70	4.80
IV 各分野の応用力・専門性	24	45分	4.60	4.78	4.78	4.62	4.69	4.71	4.68	4.73	4.75
IV 有効な資格取得	1	65分	4.72	4.89	5.00	4.72	4.94	5.00	4.94	4.78	5.00
V ①問題を発見する力	15	50分	4.68	4.80	4.80	4.74	4.69	4.73	4.66	4.80	4.77
V ②考える力・思考力	19	50分	4.69	4.81	4.81	4.71	4.74	4.77	4.71	4.80	4.79
V ③工夫する力	12	50分	4.73	4.83	4.77	4.75	4.74	4.77	4.79	4.84	4.76
V ④コミュニケーション力・表現力	17	52分	4.71	4.79	4.77	4.66	4.73	4.77	4.81	4.81	4.78
V ⑤行動する力	3	44分	4.84	4.83	4.88	4.69	4.88	4.90	4.92	4.90	4.86
全体		47分	4.64	4.79	4.80	4.65	4.71	4.74	4.69	4.75	4.77

まとめ

- 短大全体における学修時間の平均値は、推定44分であった。昨年同期の42分と比較するとやや増加した。
- 短大全体における授業満足度の平均値は、4.71であり、昨年同期の4.68と比較して若干の改善が見られた。全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、4.73(昨年同期:4.67)であり、若干の改善が見られた。幼児教育科、国際コミュニケーション科ともに学科平均が4.5以上であり、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 昨年と比較すると少しずつではあるが、全体的に改善が見られた。

学修時間・学修実態及び 授業評価に関する報告書 (2022年度秋学期)

2022年度 清泉女学院短期大学 IR室

2023/2/20

目的

- 清泉女学院短期大学の2022年度秋学期授業評価アンケートを分析すること
 - 学科別，学年別、授業形態別に分析
 - 共通教育（略称：共通）
 - 幼児教育科（略称：幼教）
 - 国際コミュニケーション科（略称：国際） とする
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程編成に関する全学的方針の検討への基礎データとして活用すること

調査概要

- 調査時期：2023年1月
- 調査対象：
 - 清泉女学院短期大学生を対象とした。
 - 分析対象は、2022年度秋学期に開講した科目のうち135科目※。総回答数3,444件。

表1 学年別・学科別・授業形態別の分析科目数

学科	配当年次	講義	演習	実技・実習	小計
共通	1・2年	11	1	2	14
	1年	4	2		6
幼教	1年	3	21	1	25
	2年	6	31		37
国際	1・2年	2			2
	1年	6	20	1	27
	2年	8	16		24
総計					135

※アンケート実施科目のみ掲載（実際の開講科目数とは異なる）

調査項目①（授業時間外の学修時間）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業時間外の学修時間（予習・復習）】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。

問 あなたは、毎日平均して、どのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？

1：0時間

2：30分程度

3：1時間程度

4：1時間半程度

5：2時間以上

- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1：「0分」、2：「30分」等、学修時間の推計量として用いた。

調査項目①の記述統計

- 短大全体における学修時間の平均値は、推定53分であった。昨年同期（約44分）と比較するとやや増加した。
- ※ σ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表2 学科別・授業形態別の授業1回当たりの予習・復習時間の推計値（分）

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	36 (13)	11	48	1	25 (1)	2	35 (13)	14
	1年	40 (6)	4	63 (11)	2			48 (13)	6
	小計	37 (12)	15	58 (14)	3	25 (1)	2	39 (14)	20
幼教	1年	60 (17)	3	60 (16)	21	48	1	60 (16)	25
	2年	46 (13)	6	59 (22)	31			57 (22)	37
	小計	51 (16)	9	60 (20)	52	48	1	58 (20)	62
国際	1・2年	36 (6)	2					36 (6)	2
	1年	55 (15)	6	58 (16)	20	42	1	56 (15)	27
	2年	34 (12)	8	53 (25)	16			47 (24)	24
	小計	42 (16)	16	55 (21)	36	42	1	51 (20)	53
	総計	42 (15)	40	58 (20)	91	35 (11)	4	53 (20)	135

調査項目②（授業満足度）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業満足度】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業全体を振り返り、満足できる内容であったと思いますか？
 - 1：そう思わない
 - 2：あまり、そう思わない
 - 3：どちらともいえない
 - 4：やや、そう思う
 - 5：そう思う

調査項目②の記述統計

- 短大全体における授業満足度の平均値は、**4.69**（昨年同期：**4.71**）であった。数値的には若干の減少がみられる。
- 全学科・授業形態別も平均値が**4.5**以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※ σ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表3 学科別・授業形態別の授業満足度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	4.70 (.24)	11	4.83 (.00)	1	4.56 (.01)	2	4.69 (.23)	14
	1年	4.45 (.24)	4	4.56 (.06)	2			4.48 (.21)	6
	小計	4.63 (.27)	15	4.65 (.14)	3	4.56 (.01)	2	4.63 (.24)	20
幼教	1年	4.71 (.08)	3	4.66 (.14)	21	5.00 (.00)	1	4.68 (.15)	25
	2年	4.56 (.16)	6	4.70 (.18)	31			4.67 (.19)	37
	小計	4.61 (.16)	9	4.68 (.17)	52	5.00 (.00)	1	4.68 (.17)	62
国際	1・2年	4.74 (.16)	2					4.74 (.16)	2
	1年	4.85 (.15)	6	4.72 (.27)	20	5.00 (.00)	1	4.76 (.26)	27
	2年	4.60 (.28)	8	4.73 (.25)	16			4.69 (.27)	24
	小計	4.71 (.25)	16	4.73 (.26)	36	5.00 (.00)	1	4.73 (.26)	53
	総計	4.66 (.24)	40	4.70 (.21)	91	4.78 (.22)	4	4.69 (.22)	135

調査項目③（学習成果の到達目標）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【科目の学習成果の到達目標に対する認識】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業は、学習成果の到達目標に対する知識・技能の習得に役立ったと思いますか？
 - 1：そう思わない
 - 2：あまり、そう思わない
 - 3：どちらともいえない
 - 4：やや、そう思う
 - 5：そう思う

調査項目③の記述統計

- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、**4.74**(昨年同期:**4.73**)であった。数値的にほぼ同値となった。
- 全学科・授業形態別も平均値が**4.5**以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※ σ (標準偏差:ばらつき度合)を示す

表4 学科別・授業形態別の学習成果目標に対する目標到達度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	4.73 (.16)	11	4.85 (.00)	1	4.60 (.04)	2	4.72 (.15)	14
	1年	4.59 (.17)	4	4.64 (.20)	2			4.61 (.18)	6
	小計	4.69 (.17)	15	4.71 (.19)	3	4.60 (.04)	2	4.69 (.17)	20
幼教	1年	4.70 (.07)	3	4.71 (.09)	21	4.85 (.00)	1	4.71 (.09)	25
	2年	4.61 (.12)	6	4.75 (.15)	31			4.73 (.16)	37
	小計	4.64 (.11)	9	4.73 (.13)	52	4.85 (.00)	1	4.72 (.14)	62
国際	1・2年	4.81 (.06)	2					4.81 (.06)	2
	1年	4.83 (.13)	6	4.71 (.32)	20	5.00 (.00)	1	4.75 (.29)	27
	2年	4.72 (.22)	8	4.88 (.14)	16			4.83 (.18)	24
	小計	4.77 (.18)	16	4.78 (.27)	36	5.00 (.00)	1	4.79 (.24)	53
総計		4.71 (.18)	40	4.75 (.20)	91	4.76 (.17)	4	4.74 (.19)	135

調査項目④：共通教育科目の学習成果（詳細）

- 短大共通教育の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.64**(昨年:**4.66**)であった。数値的にほぼ同値となった。
- 全アンケート項目に対して平均値が**4.0**以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表5 共通教育科目の学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
1 知識・教養	15	43	4.52	4.60	4.70	4.49	4.63	4.63	4.51	4.60	4.68
2 視野の広さ	9	34	4.55	4.64	4.78	4.55	4.70	4.71	4.55	4.68	4.73
3 豊かな人間性	6	33	4.46	4.55	4.70	4.45	4.57	4.64	4.47	4.57	4.64
4 コミュニケーション能力	7	44	4.72	4.69	4.67	4.68	4.59	4.60	4.64	4.66	4.69
5 健康・体力	3	32	4.70	4.59	4.67	4.65	4.52	4.55	4.57	4.63	4.66
	全体	37	4.48	4.55	4.68	4.45	4.55	4.59	4.47	4.57	4.64

調査項目⑤：幼児教育科専門科目の学習成果（詳細）

- 幼児教育科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、**4.71**(昨年:**4.77**)であった。数値的に若干の減少がみられる。
- 全アンケート項目に対して平均値が**4.5**以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。

※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表6 幼児教育科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
① IIa 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の習得	5	47	4.56	4.60	4.65	4.56	4.57	4.59	4.65	4.69	4.69
② IIb 保育の原理・目的の理解	9	57	4.47	4.53	4.58	4.46	4.51	4.47	4.58	4.54	4.63
③ IIc 保育及び支援の対象の理解	21	52	4.56	4.63	4.67	4.58	4.57	4.55	4.57	4.62	4.67
④ II d 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解	28	54	4.57	4.63	4.70	4.58	4.56	4.58	4.60	4.62	4.69
⑤ II e 保育に関する基礎的技能の獲得	18	66	4.71	4.74	4.74	4.70	4.63	4.67	4.66	4.71	4.73
⑥ II f a～eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得	22	58	4.71	4.72	4.73	4.71	4.61	4.69	4.74	4.71	4.76
⑦ III 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得	16	64	4.79	4.76	4.75	4.75	4.65	4.73	4.78	4.75	4.79
⑧ IV 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の修得	17	63	4.77	4.76	4.77	4.76	4.67	4.74	4.78	4.74	4.80
⑨ V 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の修得	16	62	4.74	4.73	4.70	4.72	4.59	4.69	4.73	4.72	4.77
⑩ VIa 保育者の体験力の基礎の修得	4	50	4.80	4.73	4.72	4.81	4.66	4.77	4.82	4.79	4.79
⑪ VIb 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の修得	4	50	4.80	4.73	4.72	4.81	4.66	4.77	4.82	4.79	4.79
	全体	58	4.62	4.67	4.71	4.62	4.60	4.62	4.63	4.67	4.71

調査項目⑥：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科1年生の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.78**であった(1年生カリキュラムの比較データなし)。
- ほぼ全ての項目で平均値が**4.5**以上であり、良好な結果であった。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7-1 国際コミュニケーション科1年生 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
I 社会人基礎力・キャリア形成力	17	54	4.80	4.82	4.79	4.67	4.68	4.78	4.74	4.80	4.81
II 基礎的知識・学修スキル	21	56	4.79	4.81	4.79	4.67	4.72	4.80	4.76	4.82	4.81
III ①各分野の応用力・専門性	8	49	4.61	4.60	4.69	4.41	4.54	4.61	4.58	4.56	4.59
②有効な資格取得	5	69	4.66	4.66	4.67	4.30	4.49	4.41	4.27	4.49	4.48
IV 清泉スピリット											
①問題を発見する力	11	52	4.72	4.73	4.85	4.66	4.68	4.80	4.75	4.77	4.78
②考える力・思考力	12	53	4.68	4.72	4.80	4.58	4.66	4.76	4.72	4.76	4.76
③工夫する力	5	41	4.74	4.84	4.85	4.73	4.77	4.84	4.83	4.86	4.84
④コミュニケーション力・表現力	19	53	4.75	4.78	4.78	4.68	4.61	4.73	4.70	4.75	4.72
⑤行動する力	3	50	4.80	4.92	4.95	4.84	4.64	4.83	4.83	4.91	4.90
	全体	51	4.75	4.78	4.81	4.63	4.71	4.76	4.70	4.78	4.78

調査項目⑥：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科2年生の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.80**(昨年:**4.71**)であった。数値的に若干の改善がみられる。
- 全アンケート項目に対して平均値が**4.5**以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7-2 国際コミュニケーション科2年生 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
I 社会人基礎力・キャリア形成力	13	51	4.71	4.76	4.86	4.77	4.75	4.83	4.76	4.75	4.87
II 建学精神・豊かな人間性	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 基礎的知識・学修スキル	2	36	4.72	4.78	4.77	4.51	4.87	4.90	4.86	4.74	4.81
IV ①各分野の応用力・専門性	26	46	4.65	4.75	4.85	4.71	4.77	4.82	4.76	4.69	4.82
②有効な資格取得	3	35	4.77	4.86	4.89	4.60	4.82	4.89	4.91	4.80	4.86
V 清泉スピリット											
①問題を発見する力	15	51	4.69	4.77	4.85	4.76	4.78	4.82	4.76	4.71	4.82
②考える力・思考力	19	50	4.65	4.77	4.85	4.72	4.78	4.82	4.76	4.70	4.82
③工夫する力	14	56	4.74	4.85	4.91	4.81	4.83	4.89	4.85	4.81	4.90
④コミュニケーション力・表現力	16	49	4.67	4.77	4.89	4.80	4.76	4.85	4.79	4.75	4.87
⑤行動する力	11	55	4.73	4.84	4.91	4.87	4.82	4.88	4.85	4.81	4.90
全体		41	4.64	4.75	4.84	4.68	4.79	4.83	4.78	4.70	4.80

まとめ

- 短大全体における学修時間の平均値は、推定53分であった。昨年同期の44分と比較すると増加した。
- 短大全体における授業満足度の平均値は、4.69であり、昨年同期の4.71と比較して若干の減少が見られたが、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、4.74(昨年同期:4.73)であった。幼児教育科、国際コミュニケーション科ともに学科平均が4.5以上であり、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 昨年と比較すると少しずつではあるが、全体的に改善が見られた。